

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書**

研究開発課題名	GPCR を標的とする RNA アプタマー創薬基盤技術の開発
代表機関名	株式会社リボミック
研究開発代表者名	秋田 一雅
全研究開発期間	平成28年度～平成30年度

1. 研究開発成果

事後報告書（下 URL）参照

<https://www.amed.go.jp/content/000048370.pdf>

2. 総合評価

- ・ 優れている

- ・ 本課題は、企業導出を視野に入れ、GPCR に対する選抜材料、選抜技術、配列解説技術、機能性評価技術を当初の予定より技術範囲を広げて検討され、ウイルス様粒子など新規技術を確立したことは高く評価できる。

- ・ 今後、開発されたウイルス様粒子を用いたアプタマー選抜法は汎用性が高く、この技術が実用されるととともに、AI 技術との融合によるさらなる発展も期待できる。簡便で汎用的なアプタマー開発のソリューションパッケージとして製薬企業や大学等への導出、共同研究を見据え、研究を展開すること。

以上